

福岡県支部

『中国大連における日本製品に対する消費者ニーズ調査』

1. 事業の目的

中小企業にとっても縮小する日本市場だけを相手にする事業では、今後の発展が困難になり、グローバル化による世界との競争の中で、成長著しい新興国市場に市場を求めるにあたって、中小企業診断士がどのような役割を担えるか、その方向性を探るための調査を行った。

2. 実施内容

中国遼寧省大連市で、中小企業者のグループが北九州市等の支援を受けて開店したアンテナショップで、来店する消費者を対象として消費者意識を知るためのアンケート調査を行った。この結果を分析して日本製品に対する消費者の考え方や、今後の現地での日本製品を販売する方向性を知るための手がかりを得ることとした。

3. 実施結果

500件のアンケート結果を分析した結果、以下のことがわかった。

- ・日本製品購買時の商品選択基準は、「品質が良い」、「機能が優れている」、「価格が適正」の順であった。
- ・男性は「品質が良い」、「機能が優れている」など製品品質を重視している一方で、女性は「色彩が良い」「商標が有名」など、商品の見た目やブランドを重視している。
- ・日本製品を購入した経験者は過去の日本製品購買に対して満足しており、今後の購買基準としても製品のデザインやカラーを重視している。製品購入未経験者に対しては、市場顧客に合わせた「価格」の訴求が必要であることが示唆された。
- ・今後購入予定の日本製品は、男性は電子製品、電気製品、食品で、女性は化粧品、電子製品、食品という結果を得た。
- ・日本製品の商品選択基準は、安全、デザイン、ブランド、色彩などである。

4. まとめ

- ・求められている日本製品は、年齢層や購買経験の有無に関わらず「電子商品」・「電気製品」および「カメラ（デジタル・ビデオ等）」といった国内の大企業が主に製造する製品がアンケート上位に位置した。
- ・中小企業製品としては「食品」や「化粧品」といった商品群に希望を抱かせる結果が得られた。
- ・今後、このような効果的なアンテナショップを開設するときの知見を得た。